特定非営利活動法人
国際農民参加型技術ネットワーク（イフパット）
2021 年度年次総会

日時：2021 年 5 月 26 日（水）14：00～15：30

場所：イフパット事務所および ZOOM 会議

【議　事　次　第】

(1)　開会挨拶

(2)　議長・書記・議事録署名人選出

(3)　議事

I.　2020 年度事業報告（1 号議案）

II.　2020 年度決算（2 号議案）

III. 2021 年度事業計画（3 号議案）

IV. 2021 年度予算案（4 号議案）

V.　その他

(4)　議長解任

(5)　閉会挨拶

I. 2020 年度事業報告

１．年間事業内容一覧

（1）総会開催

ア. 2020 年 6 月 1 日（月）14:00～15:00　於：イフパット会議室

イ．出席者：37 名 （うち書面表決者 30 名）

ウ．2020 年度は、新型コロナ感染拡大により、総会資料を郵送し、書面による表決を提出することで総会の議決とすることとしました。イフパット会員総数 49 名、正会員 47 名のうち出席者 7 名、書面表決者 30 名により、１号から５号案件すべて承認を得ました。

（2）理事会開催

ア、 2020 年度第 2 回理事会

a.日時：2020 年 11 月 16 日（月）：14：00～16：00

b.場所：イフパット事務所

c.出席者：理事　櫻井、伊藤、西村、永井、大塚、和田　　監事　岩崎　（アンダーラインはリモート出席者）

議事内容

1. 本年度の活動状況と決算見込み
   1) 本年度の活動実績として 10 月末の活動計算書(中間決算)を添付しているが、これまでの事業収益は、持続化給付金；2,000 千円と消費税の還付金；1,206 千円を含めて、25,772 千円に対して、経常支出は、16,853 千円で、現在のところ 8,919 千円の増益となっている。
   2) 本年度末の収支予想を計画実績対比表に示すが、事業収益は、39,444 千円程度が予測されるのに対して、経常支出は、38,526 千円程度になると想定されることから、918 千円程度の増益は確保できるものと予測している。
2. 本年度の事業実績と予定
   1) 研修事業については、以下の 5 研修コースをすべてリモート研修で JICA から受託予定している。受託予定金額は、合計：31,342 千円となる予定。本年度、実施が取り止められた研修は、モルジブ青年招へい農業研修の 1 コースのみであった。
      ①　生活改善　（10/29～12/11）　9,247 千円　（リモート研修）
      ②　栄養改善 A　（11/16～12/7）　5,312 千円　（リモート研修）
      ③　栄養改善 B　（2021,2/8～3/1）4,641 千円　（リモート研修）
      ④　アフリカ農機 A（11/2～12/22）　5,731 千円　（リモート研修）
      ⑤　アフリカ農機 B（2021,1/13～2/12）　6,409 千円　（リモート研修に変更予定、JICA 中国で実施。）
   2) その他研修としては、避難帰国協力隊員や専門家向けの研修が、JICA 筑波から依頼され、以下のような研修を実施した。
      ① 稲作農機研修　（9/16,17）　193 千円
      ② 避難帰国専門家支援農機研修　（9/23,24）135 千円

③ 避難帰国協力隊支援研修　（9/25、10/1）　118 千円
④ 国際協力理解講座（8/25）　16 千円
⑤ 避難帰国隊員支援研修（ボランティアベース）
小　計　462 千円

3）草の根事業については、本年度ベトナムとエルサルバドルで 2 件の実施を予定していたが、現地活動が難しいことから、本年度は契約締結程度になる予定。
① ベトナム草の根　（契約準備中、2020 年度執行可能額は最大 1,000 千円程度）
② エルサルバドル草の根　（契約準備中、2020 年度執行予定額は、オンライン研修等の実施で、3,250 千円）

4) その他
① NPO 法人ドットジェイピーから、来年 2 月、3 月期の大学生インターンの受け入れ可能性の打診があった。本年度は、オンライン研修のみであり、その時期は、栄養改善仏語コースが実施しているが、仏語研修でもあり、今年度の受け入れは難しい旨回答した。

3. 今後の事業･活動についての提案及び意見交換
① 今は、JICA 事業やアフリカの農業では、SHEP との関連が強く、SHEP を取り組むことがイフパットの活動でも重要と思われる。
② 生活改善・栄養改善の活動事例をまとめて、出版し収入を得るとか、生活改善や栄養改善分野のコンサルタント活動により収入を得る等も検討できる。
③ 農業機械の専門家がコンサルタント業界に不足している状況があり、イフパットの農業機械の人材が活用できる。

イ、2021 年度第 1 回理事会議事録

日時：　2021 年 5 月 6 日（木）14:00～16:00、於：イフパット事務所および ZOOM 会議
出席予定者：理事：櫻井、西村、永井、大塚、監事：岩崎
ZOOM 参加：理事：伊藤、和田
審議内容：

1. 2020 年度決算を終了し、4 月 19 日に監事監査も行った。

2. 2020 年度計画と実績の対比（2020 年計画・実績対比表参照）：2020 年度はコロナ感染拡大が全世界で継続する中、JICA 事業も全面的に中断を余儀なくされた。このため当初予定されていた事業の実施が困難となり、計画の半分程度の事業収益となった。予定していた研修コースのうち、モルジブ青年招へい研修が中止になったが、その他の 5 研修は遠隔研修で実施することが出来た。しかし、20 年度に開始予定だったベトナムとエルサルバドルの草の根事業は 2 件とも開始することが出来ず収益にも大きく影響した。

このため、収益減を補てんするため持続化給付金 200 万円の申請をし、講師謝金消費税の過年度 3 年分の支払額（1,202 千円）の還付請求も認められて、合計 3,202 千円の雑収入を計上できたことで、当期正味財産増減額は 1,478 千円の赤字に抑えることが出来た。

3. 2021 年度事業計画について：本年度も、コロナ感染症の終息の目途は立たないことから、JICA 事業への影響も続くと思われ、遠隔研修継続し草の根事業の実施も不確定な状況が予想される。

経常収益については 59,559 千円（2020 年度は 34,290 千円）と計画している。これに対し、経常費用は、57,691 千円程度を予定しており、草の根事業が計画通り動き出せればの前提ではあるが、当期正味財産増減額は 1,868 千円程度と黒字が確保できると想定している。

１）研修コースの受託：本年度は、昨年度と同じく 5 コースの研修を予定している。

２）草の根事業：ベトナムとエルサルバドルの契約も概ね終了しているが、開始時期は確定していない。両案件の 2021 年度事業費を、不確実ではあるが 24,000 千円とする。

4. 2021 年イフパット総会の実施方法について

本年度も、会場を借りての総会の開催は難しいと思われるが、ZOOM で会員に参加いただくことは可能ではないかという意見が多く、総会資料を全会員にあらかじめ郵送の上、表決票を返送いただくか、4 月 26 日（水）14:00~15:30 に ZOOM での総会を開催し、参加できる会員にはこれに参加いただくことで対応することとなった。

5. その他

① インターン学生の受け入れ

・日本大学冨岡丈朗会員からの依頼で、本年 4 月から 1 年間、生活改善研修の事務管理業務補助を中心に受け入れを予定している。

・笠掛怜美　国際関係学部　4 年生

② 自主事業など報酬の発生しないイフパットの活動に対し、インセンティブを与える意味でも報酬を検討してみてはどうか？　次回理事会で検討する。

（3）自主事業

ア、一時帰国 JOCV 向け再派遣応援セミナー　　講師：和田、小林、積

① 2020/7/2（木）「隊員活動に生きる生活改善アプローチのポイント」

② 2020/7/7（火）「隊員活動に生きる生活改善アプローチのポイント」

③ 2020/8/26（水）栄養改善事例紹介

イ、大学生・大学院生向け：国際協力を感じる第一歩　　講師：和田、小林、積

① 2020/9/8（火）生活改善アプローチで用いられる参加型開発ツールを体験する

ウ、「イフパットだより」の発行：

① 第 24 号（2020 年 5 月 11 日発行）JICA 筑波直営型農業機械分野の研修コースの終了にあたり同研修コースの長い歴史を特集した。

② 第 25 号（2020 年 11 月 27 日発行）新型コロナウイルス感染症の世界的拡大に伴うイフパット活動の状況

を特集した。

③ 第 26 号（2021 年 4 月 1 日発行）新型コロナのため実施した遠隔研修の実施状況を報告した。

エ、「イフパットサロン」

① 7 月 30 日（木）「地域での開発を考える」（ZOOM 形式） 講師：柿崎芳明

（4）JICA 研修コースの受託

ア.「2020 年度 中南米地域 生活改善アプローチ 持続的農村開発のための普及手法の適用と普及員育成」コース 契約金額：9,247 千円
業務総括：和田彩矢子
・研修期間：2020 年 10 月 29 日～12 月 11 日、（本邦プログラム）

イ.「農業を通じた栄養改善」（アフリカ）
・(A コース：英語)、研修期間：2020 年 11 月 16 日～12 月 7 日、契約金額：5,577 千円
業務総括：小林沙羅 事務管理：錦織紀子
・(B コース：仏語)、研修期間：2021 年 2 月 8 日～3 月 1 日、 契約金額：5,544 千円
業務総括：積奈津子 事務管理：錦織紀子

ウ.「2020 年度 アフリカ地域農業機械化促進（A)」コース 契約金額：6,619 千円
業務総括：山口浩司
研修期間：2020 年 11 月 2 日～2020 年 12 月 22 日

エ.「2020 年度 アフリカ地域農業機械化促進（B)」コース 契約金額：6,257 千円
業務総括：大塚寛治
研修期間：2021 年 1 月 18 日～2021 年 2 月 25 日

オ. その他研修等講師派遣
(ア)大学生大学院生向け国際理解講座研修講師（8/25） 和田彩矢子 講師謝金等：16 千円
(イ)JICA 専門家向け農業機械研修講師（9/23, 24） 櫻井文海/大塚寛治 講習料：140 千円
(ウ)協力隊員向け技術補完研修（農業農村開発）研修講師 （9/25）和田彩矢子 （10/1）櫻井文海/大塚寛治 講習料：126 千円
(エ)稲作技術向上（普及員）研修講師（9/16, 17）山口浩司 講師謝金等：220 千円
(オ)ラテンアメリカ・持続可能な環境保全型農業普及手法研修講師（12/25） 和田彩矢子 講習料：155 千円

2、その他の事業・活動

（1）民間連携海外協力隊派遣

・錦織紀子　　派遣期間：　2019 年 1 月 28 日から 2021 年 1 月 27 日までの予定で派遣されていたが、コロナ感染の拡大により、2021 年 3 月に避難帰国し、8 月にイフパットに復職しているが、現在も再派遣待機中。

１．　インターン学生の受け入れ

・NPO 法人ドットジェイピーからの依頼で、本年 1 月から 2 月にかけて、栄養改善 B コース実施期間中に筑波大学の学生 2 名を受け入れた。

① 松田莉緒　生命環境学群　生物資源学類　1 年生

② 金澤有希　社会・国際学群　国際総合学類　1 年生

３、　総務・人事

（１） 会員の増減（会員数：49 名）

新入会員：吉田俊弘（2020 年 6 月）、西野重雄　（2020 年 12 月）

退会会員：大川晴久（2020 年 5 月）、矢澤佐太郎（2021 年 3 月）

活　動　計　算　書

［税込］（単位：円）

特定非営利活動法人　国際農民参加型技術ネットワーク		自 2020年 4月 1日　至 2021年 3月31日	
【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費		114,000	
【事業収益】			
自主事業収益	7,000		
国際協力研修受託事業収益	28,769,772		
講師派遣受託事業収益	714,523	29,491,295	
【その他収益】			
受取　利息	226		
雑　収　益	3,206,700	3,206,926	
経常収益　計			32,812,221
【経常費用】			
【事業費】			
（人件費）			
給料　手当(事業)	9,415,971		
報酬　　(事業)	1,663,595		
法定福利費(事業)	2,634,568		
福利厚生費(事業)	53,561		
人件費計	13,767,695		
（その他経費）			
業務委託費	1,839,920		
一般謝金	4,272,741		
旅費交通費(事業)	1,093,154		
研修諸経費	2,392,008		
通信運搬費(事業)	76,276		
消耗品　費(事業)	52,393		
消　費　税(事業)	1,535,500		
租税　公課(事業)	50,800		
支払手数料(事業)	46,746		
為替　差損	8,656		
雑　　費(事業)	15,160		
その他経費計	11,383,354		
事業費　計		25,151,049	
【管理費】			
（人件費）			
給料　手当	5,983,769		
法定福利費	170,112		
通　勤　費	228,480		
福利厚生費	10,369		
人件費計	6,392,730		
（その他経費）			
印刷製本費	71,500		
旅費交通費	14,960		
通信運搬費	219,619		
消耗品　費	107,891		
備品費	378,683		
水道光熱費	124,268		
地代　家賃	741,200		
広告宣伝費	57,100		
保　険　料	18,500		
租税　公課	1,580		
支払手数料	82,280		
雑　　費	3,337		
その他経費計	1,820,918		
管理費　計		8,213,648	
経常費用　計			33,364,697
当期経常増減額			△ 552,476
【経常外収益】			
経常外収益　計			0
【経常外費用】			
経常外費用　計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 552,476
法人税、住民税及び事業税			925,700
当期正味財産増減額			△ 1,478,176
前期繰越正味財産額			17,050,068
次期繰越正味財産額			15,571,892

2021年4月19日

監査報告書

特定非営利活動法人　国際農民参加型技術ネットワーク
会長　櫻井　文海　様

監事　岩崎　薫　印

特定非営利活動促進法18条の提案に基づき、特定非営利活動法人　国際農民参加型技術ネットワーク(IFPaT)の2020年度（2020年4月1日~2021年3月31日まで）の事業と決算報告（活動計算書、貸借対照表、財産目録）について監査を行った。

監査の結果、当法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則にそって適正に処理されていることを確認した。

以上

2020年度・活　動　計　算　書・　計　画　実　績　対　比　表

2020年4月1日から2021年3月31日まで　　（単位：円）

科　　目	2020年度当初計画 金額			2020年度実績 金額		
Ⅰ　経常収益						
1．受取会費						
正会員受取会費	147,000	147,000	49名	114,000	114,000	38名
2．受取 寄付金						
受取寄付金		0			0	
3．事業収益						
(1)国際協力研修受託事業	25,583,000			28,769,772		
(2)国際協力専門家派遣事業	0			0		
(3)草の根事業	6,000,000		草の根ベトナム（3,000千円）、エルサルバドル（3,000千円）	0		草の根ベトナム（0千円）、エルサルバドル（0千円）
(4)県委託事業	0			0		
(4)講師派遣	100,000			714,523		
(5)自主事業	0	31,683,000		7,000	29,491,295	
4．その他収益						
受取利息	250			226		
雑収入	1,202,000		消費税還付金	1,206,700		消費税還付金
	0	1,202,250		2,000,000	3,206,926	持続化給付金
経常収益計			33,032,250			32,812,221
Ⅱ　経常費用						
1．事業費						
(1)人件費						
給与手当	12,500,000			9,415,971		
報酬	0			1,663,595		
法定福利費	2,500,000			2,634,568		
福利厚生費				53,561		
人件費計	15,000,000			13,767,695		
(2)その他の経費						
講師謝金	4,200,000			4,272,741		
旅費交通費	5,250,000			1,093,154		
研修諸経費	360,000			2,392,008		
業務委託費	0			1,839,920		
現地調査費	750,000		ベトナム650千円、エルサルバドル95千円	0		
海外活動費	600,000		ベトナム草の根300千円、エルサルバドル草の根300千円	0		
国内活動費	0			0		
設備・機材費	0			0		
消耗品費	23,447			52,393		
備品費	0			0		
通信運搬費	120,000			76,276		
支払手数料	50,000			46,746		
保険料	100,000			0		
租税公課	53,000			50,800		
会議費	50,000			0		
書籍代	3,000			0		
研修料	10,000			0		
雑費	33,108			15,160		
為替差損	30,000			8,656		
消費税	0			1,535,500		
その他の経費計	11,632,555			11,383,354		
事業費計		26,632,555			25,151,049	
2．管理費						
(1)人件費（給与）						
人件費	1,200,000			5,983,769		
法定福利費	300,000			170,112		
通勤費	230,000			228,480		
福利厚生費	0			10,369		
人件費計	1,730,000			6,392,730		
(2)その他の経費						
消耗品費	120,000			107,891		
備品費				378,683		
水道光熱費	150,000			124,268		
通信運搬費	223,387			219,619		
支払手数料	136,132			82,280		
賃貸家賃	687,560			741,200		
保険料	0			18,500		
租税公課	2,000			1,580		
会議費	3,381			0		
印刷製本費	0			71,500		
研修料	0			0		
福利厚生費	63,390			0		
雑費	32,147			3,337		
広報費	54,600			57,100		
旅費交通費	15,180			14,960		
消費税	1,800,000			0		
法人税	925,700			0		
その他経費計	4,213,477			1,820,918		
管理費計		5,943,477			8,213,648	
経常費用計			32,576,032			33,364,697
当期経常増減額			456,218			−552,476
法人税、住民税、事業税	0			925,700		−925,700
当期正味財産増減額						−1,478,176
前期繰越正味財産額			17,050,068			17,050,068
次期繰越正味財産額			17,506,286			15,571,892

貸　借　対　照　表

特定非営利活動法人　国際農民参加型技術ネットワーク　　［税込］（単位：円）

全事業所　　2021年 3月31日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
（現金・預金）			
現　　金	358,004		
普通　預金	17,011,934		
現金・預金 計	17,369,938		
（売上債権）			
未　収　金	9,297,771		
売上債権 計	9,297,771		
（その他流動資産）			
前　払　金	771,898		
その他流動資産　計	771,898		
流動資産合計		27,439,607	
資産合計			27,439,607
《負債の部》			
【流動負債】			
未　払　金	9,719,218		
前　受　金	2,148,497		
流動負債合計		11,867,715	
負債合計			11,867,715
《正味財産の部》			
前期繰越正味財産		17,050,068	
当期正味財産増減額		△ 1,478,176	
正味財産合計			15,571,892
負債及び正味財産合計			27,439,607

自主事業積立金		
2011年度	積立	731,961
（平成23年度）	支出	266,846
	繰越額	465,115
2012年度	職員積立	532,005
（平成24年度）	役員積立	1,423,219
	繰越額	2,420,339
2013年度	職員積立	753,921
（平成25年度）	役員積立	1,112,498
	寄付金	678,530
	支出	1,138,309
	繰越額	3,826,979
2014年度	積立	1,808,738
（平成26年度）	寄付金	1,002,000
	支出	2,294,368
	繰越額	4,343,349
2015年度	積立	0
（平成27年度）	寄付金	1,491,567
	支出	152,592
	繰越額	5,682,324
2016年度	積立	1,970,895
（平成28年度）	寄付金	225,729
	支出	300,000
	繰越額	7,578,948
2017年度	積立	0
（平成29年度）	寄付金	0
	支出	0
	繰越額	7,578,948
2018年度	積立	0
（平成30年度）	寄付金	0
	支出	1,892,639
	繰越額	5,686,309
積立金合計		5,686,309

財　産　目　録

特定非営利活動法人　国際農民参加型技術ネットワーク　　［税込］（単位：円）

全事業所　　2021年 3月31日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
（現金・預金）			
現　　金	358,004		
事務所(YEN)	(64,165)		
事務所(VND)	(265,457)		
ベトナム(VND)	(28,382)		
普通　預金	17,011,934		
常陽銀行　内原支店　1235602	(13,541,915)		
三菱UFJ銀行　土浦支店　0211575	(3,466,845)		
PayPal	(3,174)		
現金・預金 計	17,369,938		
（売上債権）			
未　収　金	9,297,771		
売上債権 計	9,297,771		
（その他流動資産）			
前　払　金	771,898		
その他流動資産　計	771,898		
流動資産合計		27,439,607	
資産合計			27,439,607
《負債の部》			
【流動負債】			
未　払　金	9,719,218		
給与見合留保分	(8,484,040)		
報酬見合留保分	(1,166,650)		
通勤費・交通費	(21,388)		
遠隔研修費	(45,630)		
消耗品費	(1,510)		
前　受　金	2,148,497		
流動負債合計		11,867,715	
負債合計			11,867,715
正味財産			15,571,892

III. 2021 年度事業計画（案）

「基本指針」：本年度は、新型コロナ感染症の影響が続く中、JICA 事業が大きく回復することは見込めないと思われる。2021 年度も引き続き厳しい状況が続くものと想定している。
活動の柱は、JICA の研修コース受託であり今年度もリモートでの研修実施になるものと思われる。また、草の根技術協力事業についても、ベトナムとエルサルバドルの 2 件の契約が確定したが、現地での活動開始がいつできるかが大きな課題となる。

１．事業実施の方針

この法人は下記に掲げる特定非営利活動を行う。

（１） 国際協力の活動。

（２） 経済活動の活性化を図る活動。

（３） 学術の進行を図る活動。

２．事業の実施に関する事項

特定非営利活動にかかわる事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額（千円）
国際協力の活動	1. 2020 年度「中南米地域　生活改善アプローチ持続的農村開発のための普及手法の適用と普及員育成」事後プログラム	2021.4.-2021.6	つくば市	2	研修員 15 名	2,412
	2. 2021 年度「農業を通じた栄養改善」(アフリカ、A コース、英語)	2022.1.-2022.2	つくば市	2	研修員 13 名	5,600
	3. 2021 年度「農業を通じた栄養改善」(アフリカ、B コース、仏語)	2021.6-2021.7	同上	2	研修員 13 名	5,800
	4. 2021 年度「アフリカ地域農業機械化促進」(A コース、英語)	2021.11-2021.12	同上	2	研修員 8 名	6,600
	5. 2021 年度「アフリカ地域農業機械化促進」(B コース、仏語)	2022.1-2022.2	東広島市	2	研修員 8 名	5,400

	6. 2021 年度「中南米地域　生活改善アプローチ持続的農村開発のための普及手法の適用と普及員育成」	2021.8-2021.10	つくば市	2	研修員 15 名	9.000
	7. ベトナム草の根技術協力（農村開発）	2021.5-2024.3	ベトナム	2	不特定多数	12,000
	8. エルサルバドル草の根技術協力（生活改善）	2021.4-2024.3	エルサルバドル	2	不特定多数	12,000
	合　　計					59,212
経済活動の活性化	1．案件発掘調査（2 件）	2021.4-2022.3	未定	2	不特定多数	200
					小計	200
学術振興を図る活動	1.　イフパットだよりの発行	2021.4-2022.3	つくば市	1	会員	20
	2．ホームページの作成更新	2021.4-2022.3	つくば市	1	同上	100
					小計	120

1．　事業の詳細

（1） 自主事業

ア、案件形成準備調査（2 件）未定

イ、イフパットだよりの発行：年３回発行

ウ、イフパットサロンの開催

（2） JICA 研修コースの受託

ア、2020 年度地域別研修「中南米生活改善アプローチを通じた農村開発」事後プログラム

＊業務総括：和田彩矢子

＊研修期間：2021 年 4 月から 2021 年 6 月まで（契約済）

イ、2021 年度「農業を通じた栄養改善」（A コース：英語圏）及び（B コース：仏語圏）

（A）コース：2022 年 1 月～2022 年 2 月まで
＊業務総括：小林沙羅、事務管理：錦織紀子
（B）コース：2021 年 6 月～2021 年 7 月まで
＊業務総括：積奈津子、事務管理：錦織紀子

ウ、2021 年度地域別研修「中南米生活改善アプローチを通じた農村開発」

＊業務総括：和田彩矢子

＊研修期間：2021 年 8 月から 2021 年 10 月まで（予定）

エ、2021 年度集団研修「アフリカ地域農業機械化促進」A コース（英語圏）

＊業務総括：山口浩司

＊研修期間：2021 年 11 月から 2021 年 12 月まで（予定）

オ、2021 年度集団研修「アフリカ地域農業機械化促進」B コース（仏語圏）

＊業務総括：大塚寛治

＊研修期間：2022 年 1 月から 2022 年 2 月まで（予定）

（３） JICA 草の根技術協力事業

ア、ベトナム「中山間地域の少数民族農村におけるアグリツーリズムを導入した生計向上モデル事業」

イ、エルサルバドル「女性の生活改善と青少年のビジョン形成を通じた幸せに過ごせる地域づくり事業」

（５）その他の事業

ア、民間連携海外協力隊派遣（中断中）

・錦織紀子　　派遣期間：　2019 年 1 月 28 日から 2021 年 1 月 27 日までの予定で派遣

されていたが、コロナ感染の拡大により、2020 年 3 月に避難帰国し、8 月にイフパット復帰し活動中ながら、現在も再派遣待機中。

イ、インターン学生の受け入れ

・日本大学冨岡丈朗会員からの依頼で、本年 4 月から 1 年間、生活改善研修の事務管理業務補助を中心に受け入れを予定している。

① 笠掛怜美　国際関係学部　4 年生

（6）総務・人事：

① 会員の増減なし（会員数：46 名）

退会会員：枝川孝男（2021 年 4 月）、大石常夫（2021 年 4 月）、

佐竹隆顕（2021 年 4 月）

V. 2021 年度予算案

［税込］（単位：円）

	2020年度実績			2021年度計画			備考
【経常収益】							
【受取会費】							
正会員受取会費		114,000			147,000		49名
【事業収益】							
自主事業収益	7,000			0			
国際協力研修受託事業収益	28,769,772			35,212,000			
草の根事業収益	0			24,000,000			草の根ベトナム（12,000千円）、草の根エルサルバドル（12,000千円）
講師派遣受託事業収益	714,523	29,491,295		500,000	59,712,000		
【その他収益】							
受取　利息	226			200			
雑　収　益	3,206,700	3,206,926		0	200		
経常収益　計			32,812,221			59,859,200	
【経常費用】							
【事業費】							
（人件費）							
給料　手当(事業)	9,415,971			16,400,000			
報酬　　(事業)	1,663,595			2,600,000			
法定福利費(事業)	2,634,568			2,000,000			
福利厚生費(事業)	53,561			60,000			
人件費計	13,767,695			21,060,000			
（その他経費）							
業務委託費	1,839,920			2,500,000			
一般謝金	4,272,741			6,500,000			
旅費交通費(事業)	1,093,154			2,000,000			
研修諸経費	2,392,008			4,000,000			
現地調査費	0			3,000,000			草の根ベトナム（1,500千円）、草の根エルサルバドル（1,500千円）
海外活動費	0			3,000,000			草の根ベトナム（1,500千円）、草の根エルサルバドル（1,500千円）
国内活動費	0			1,000,000			草の根ベトナム（500千円）、草の根エルサルバドル（500千円）
設備・機材費	0			1,000,000			
通信運搬費(事業)	76,276			100,000			
消耗品　費(事業)	52,393			100,000			
消　費　税(事業)	1,535,500			2,500,000			
租税　公課(事業)	50,800			100,000			
支払手数料(事業)	46,746			100,000			
為替　差損	8,656			30,000			
雑　　費(事業)	15,160			50,000			
その他経費計	11,383,354			25,980,000			
事業費　計		25,151,049			47,040,000		
【管理費】							
（人件費）							
給料　手当	5,983,769			6,600,000			
法定福利費	170,112			850,000			
通　勤　費	228,480			230,000			
福利厚生費	10,369			35,000			
人件費計	6,392,730			7,715,000			
（その他経費）							
印刷製本費	71,500			100,000			
旅費交通費	14,960			30,000			
通信運搬費	219,619			250,000			
消耗品　費	107,891			150,000			
備品費	378,683			200,000			
水道光熱費	124,268			130,000			
地代　家賃	741,200			750,000			
広告宣伝費	57,100			100,000			
保　険　料	18,500			18,500			
租税　公課	1,580			5,000			
支払手数料	82,280			100,000			
雑　　費	3,337			30,000			
その他経費計	1,820,918			1,863,500			
管理費　計		8,213,648			9,578,500		
経常費用　計			33,364,697			56,618,500	
当期経常増減額			△ 552,476			3,240,700	
【経常外費用】							
経常外費用　計			0			0	
税引前当期正味財産増減額			△ 552,476			3,240,700	
法人税、住民税及び事業税			925,700			72,000	
当期正味財産増減額			△ 1,478,176			3,168,700	
前期繰越正味財産額			17,050,068			15,571,892	
次期繰越正味財産額			15,571,892			18,740,592	